



早稲田大学校友会  
佐倉稲門会会報

# 稲門佐倉

第35号



佐倉の秋祭り

## 会長就任にあたって

会長 森山 泰充 (S48政経)



6月11日に開催された定期総会でご承認を頂いて第七代目会長を仰せつかりました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。

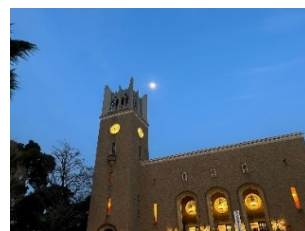
竹鼻前会長は2007年から幹事長10年、1年間の副会長を経て2018年から会長を5年務められました。16年間の長きにわたりリーダーシップを発揮して、会の発展に尽くされました。対面活動を自粛したコロナ禍の3年間も、会員相互のコミュニケーションを図るべく腐心されました。茲にあらためて感謝申し上げます。

歴代会長の下で営々と築き上げられた佐倉稲門会の良き文化や輝かしい伝統を受け継ぎ、会の更なる活性化に誠心誠意努める所存でございます。佐倉稲門会の3つの活動目標①会員相互の親睦の深化②早稲田大学の発展に協力③地域社会の文化の向上に寄与、に基づいて企画運営をして参ります。校友会や千葉県下の地域稲門会からも、佐倉稲門会の多彩で魅力ある行事は高く評価されています。また行事や同好会活動に奥さまを含めご家族の皆さまが多数参加されていることも大きな特色です。稲門の皆さまがこれまで以上に打ち解けて交流されるよう、人と人との繋がりを大事にしたいと思っております。そしてより多くの方が佐倉稲門会に興味を持たれるよう、発信力を高めて会員拡充にも努めて参ります。会員の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

私の大学・高校時代を少し紹介致します。団塊世代最終年の私は一浪を経て入学しました。当初は勉学に勤しんでいましたが、学費値上げ反対闘争により大学封鎖が続きました。財政学ゼミは真面目に学びましたが身についていません。庄司薫著「赤頭巾ちゃん気をつけて」や柴田翔著「されどわれらが日々」に接したのもこの頃です。学力よりも人間力を磨いた大学生活でした。その中でも入学時創設5年目のサークル「なべの会」での密度の高い交流や数多くの行事体験が、その後の人生に大いに役立っています。4年生時には会員100名を超え、卒業後も早稲田の固い絆で繋がった60年の世代に渡るOBや学生と続けている交流は、今も学びの場です。

ペリー来航時の老中首座・阿部正弘が開学した私の出身高校は儒教の四書「中庸」の一節から校名をつけたこともあり、校内に「和而不流」の額が掲げられていました。人と相和すれども流れて節を失うことがないように、周囲の人との調和を大切にしながらも世の風潮に迎合することなく自分の志を守り人におもねらないこと、を学びました。また入学直後に全員が池田潔著「自由と規律ーイギリスの学校生活」の購読を求められました。パブリックスクールの自由の精神が厳しい自己統制の中で育まれていく、自己規律に裏打ちされてはじめて自由は生きてくること、を最初に共に学び今もぶれることなく続いている高校時代の多くの学友も大事な宝です。

私自身が佐倉稲門会での縁と親睦をととても満喫致しております。至らぬ点が多々ございますが、和気藹々の雰囲気継続して、より素晴らしい交歓の場にしたいと思っております。皆さまには従来に増したご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





幹事長 河野 俊昭 (S48法)

この度、森山の後任として幹事長の役を務めることとなりました河野俊昭と申します。会員の皆様楽しんでいただけるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。コロナもようやく落ち着いてきましたので、当会も徐々に通常活動を再開しつつあり、今年度は以前と同様の活動を計画しております。多様な同好会もあり、ZOOMを使ったヴァーチャルでの活動もあります。ご興味のある活動に積極的にご参加いただき、当会活動をますます盛り上げていただきますようお願いいたします。

|     | 行事予定                                 | 同好会活動予定                                   | 校友会・県支部活動予定      |
|-----|--------------------------------------|-------------------------------------------|------------------|
| 9月  |                                      | ウォーキング会<br>囲碁同好会<br>お能を楽しむ会               | 千葉県支部幹事会<br>代議員会 |
| 10月 | 22日 稲門祭<br>22日 ホームカミングディ<br>野球早慶戦応援会 | ゴルフ同好会<br>懇話会<br>ハイキング会                   |                  |
| 11月 | 23日 ラグビー早慶戦応援会                       | 俳句同好会<br>麻雀同好会                            | 26日 千葉県稲門祭       |
| 12月 | ラグビー早明戦応援会                           | 寄席を楽しむ会<br>(11ページに連<br>絡先・活動内容<br>があります。) | 商議員フォーラム         |
| 1月  | 3日 箱根駅伝応援会<br>新年会<br>中山競馬観戦会         |                                           |                  |
| 2月  | 佐倉稲門会・佐倉三田会合同講演会                     |                                           |                  |
| 3月  |                                      |                                           | 代議員会             |

## 2023年千葉県稲門祭開催！

- 日時 2023.11.26 (日) 午後2時30分～7時35分  
 場所 東京ベイ幕張ホール (JR海浜幕張駅徒歩数分)  
 方法 対面＋リモート  
 会費 対面10,000円、リモート1,000円  
 内容 第一部 講演会 (午後2時30分～3時30分)  
           演題：「危機の時代」を生き抜くリーダー論  
           講演者：新谷 学 文藝春秋編集長  
           第二部 総長懇談会 (午後3時40分～4時55分)  
                   齋藤 美穂 早稲田大学副総長  
           第三部 懇親会 (午後5時30分～7時35分)

去年は久しぶりに対面でも開催し、コロナ禍でも対面とリモートで約350人が参加しました。



# 新入会員の紹介

会報第34号発行以降に入会された10名をご紹介します。

関 美子さん  
(S47一文)



1972年第一文学部文芸学科卒、日本航空にグランドホステスとして入社、その後事務職となり成田空港開設準備委員として開港2年前に赴任。女性第一号となる。三里塚闘争の最中、管制塔襲撃の翌日、現地に成田支社長秘書として公団に書類を届け、ガラスや壊された什器を踏み分けた事もありました。

制限区域立入承認証（通称ランプパス）担当となり、JAL独自のパソコンによるパス作成採用交渉では、成田稲門会の人脈支援に感謝しております。

1986年10月、早期退職して社会人入試で、再び早稲田大学第二文学部国文科に入学。国文学を一から学び、1989年4月二松学舎大学大学院に入学、国文学修士号を取得しました。

二松学舎大学学長であられた雨海先生のご薫陶を賜り、先生の教えておられた、カルチャーセンターで講師として平安時代の歌物語、物語などを教えて参りました。会社員時代に社内で開催されていた句会に参加し、ご指導を受けました。

最近、とうもん・さくら俳句の会の末席をけがしております。

若い頃は、フランス文学に傾倒したのですが、歳を重ね日本の良さに目覚めました。

残された日々は、この美しい国の文化や自然に浸りながら過ごすつもりでいます。

稲葉 隆さん  
(S51政経)



私は静岡県島田市の出身で、高校は隣町の県立藤枝東高校でした。

高校時代は、強豪サッカー部・・・の隣に部室がある弱小山岳部に所属し、南アルプス中心に山行していました。

1972年、早稲田大学政治経済学部に入學、当時法学部4年在籍の兄と同じ下宿屋に入り、その先輩に誘われ「歩行（あるこう）会」に所属し、山歩きを続けました。

1976年電源開発株式会社（Jパワー）入社後は、現場と本店勤務を繰り返していましたが、95年から3年間は、当時石炭を輸入していた中国の北京事務所に家族（妻と当時小学生と幼稚園の息子2人）を伴って赴任しました。

2016年からの最後の4年間は長崎県松浦市のJパワー、九州電力共同出資の石炭輸入・港湾管理会社に勤務しました。

2020年、コロナ禍の中でリタイヤ後、それまで希薄だった地元意識に目覚め、昨年佐倉市民カレッジに入学、今年3月には佐倉シニアアンサンブルに入団（ギター担当）していますが、佐倉稲門会の活動にも参加させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

篠崎 正明さん  
(S53政経)



篠崎正明です。1978(昭和53)年3月に早大政治経済学部経済学科を卒業しています。

生まれは栃木県で、宇都宮高校出身です。立憲民主党の枝野幸男くんは、9学年分下の宇都宮高校の後輩ですが、1・2・3年と、校内弁論大会では3連覇だったようです。

大学受験では早大以外合格出来ず、浪人も考えましたが、コンクリートの建物に瓦屋根という、不思議な(変挺な?)「帝冠様式」の校舎に「ご縁」を感じて入学を決めました。

大学卒業後、大学院に進みますが、1年で中退し千葉県で高校の教員になります。その1年目、生まれて初めて作った3年政治経済の中間テストで、1人の生徒に満点をとられてしまいます。教員対生徒の勝負とすれば、完敗です。その時は思いもしないことでしたが、その生徒は、高校卒業後に日本女子大から労働省の役人になり、さらにその後、家内になってくれました。そういう訳で、最初から現在まで、完全に圧倒され続けています。

佐倉市へは1990(平成2)年に転入し、現在まで33年間、お世話になっております。

末永く、よろしくお願い致します。

谷村 章夫さん  
(S63 一文)



初めまして。この度、佐倉稲門会に入会させていただきました谷村章夫(たにむら あきお)と申します。88年第一文学部文学科ドイツ文学専修卒業です。宜しくお願い致します。

生まれは神奈川県で、大学時代は実家のあった川崎市から通学していました。在学中は、現在は体育会になったアーチェリー部に所属し、学業よりもアーチェリーに入れ込んでいました。大学時代の思い出はほとんどこちらのことで、勉強に関しては不良学生でした。

現在、佐倉市西志津に妻と息子、犬と暮らしています。息子は自閉症で、特別支援学校卒業後佐倉市役所にお世話になってから、現在は成田市的一般企業に就職しています。絵を描くのが趣味で、佐倉市美術館で開催される「ふれあいギャラリー」などの作品展への展示や個展の開催をしています。

私自身はIT関連の企業に勤めています。早稲田入学前に若干回り道をしたため現在の会社では定年なのですが、もう一息頑張ってみようと思っています。

佐倉には94年から住み始めて30年近くとなり、自分の人生で一番長い住まいになりました。その割には知らないことが多いので、今後はもっと地元に親しみたいと考えています。

改めまして、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

松井 勝喜さん  
(S59社学)



1984年社会科学部を卒業。私は地元佐倉で生まれ育ち、佐倉高校から憧れの早稲田に入学、7年間の学生生活を経て無事(?)卒業した次第です。

入学時から同好会の空手極真会に所属しておりました。演劇博物館前の一画と記念会堂のステージが「道場」でした。本部道場での審査会や大会では「空手バカー代」のモデル、崇敬する大山倍達館長の警效に接し感激したものです。在籍中、稽古中の先輩の不慮の死という衝撃的な事件がありましたが、全日本大会、世界大会での優勝を成し遂げた先輩方と同時代を共にできた事は貴重な財産となりました。

在学途中から早稲田周辺に下宿、アルバイトと稽古と夜の酒場通い、当然学業からは遠のいてしまい、このままではまずい、と最後の1年間は真面目に授業に出席、よく図書館にも通いつめたものです。

卒業後は紆余曲折を経て、現在は整体師として現役で仕事をしております。学生時代、稽古で腰・膝痛に悩まされ、東洋医学、整体治療に関心をもつようになり、この世界に入りました。人を癒して感謝されることは自分の喜びにもなっています。

趣味は社会人となってから始めた登山。この数年離れていましたが、また再開しようと体力維持、強化に努めております。稲門会の方々に同好の士がおいでになると嬉しいです。

機会があれば各種行事で皆様とご一緒させて頂ければ幸いです。

野村 知哉さん  
(S61理工)



早稲田大学理工学部数学科を1986年に卒業しました野村知哉と申します。2009年から佐倉市大崎台に住んでおりまして、先日還暦を迎えました。数学を専攻したこともあって、「アクチュアリー」という保険数理の専門職として長年主に保険業界で働いてきましたが、現在はEYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社に勤務しております。

2000年からの10年間、ニューヨークにて勤務していた関係で、NY稲門会に参加して早慶戦ゴルフを始めとする数々のイベントを楽しむことができたので、このたび佐倉稲門会に参加させていただこうと考えました。何卒宜しくお願い致します。

趣味はクラシックやジャズを中心とする音楽鑑賞で、絵画を見るのも好きです。ニューヨークのMOMAやメトロポリタン美術館には今年も行きましたし、3年前にはゴッホ美術館を見にアムステルダムにも行きました。ゴルフや格闘技を中心にスポーツ観戦も好きです。自分でやるのは専らゴルフで、月1~2回千葉近郊でラウンドしております。まだ働いていることもあって、なかなかスケジュールが自由になりませんが、皆様とご一緒できますことを楽しみにしております。

野中 伸康さん  
(S61一文)



皆様はじめまして、1986年第一文学部卒業の、野中伸康と申します。英文学専修です。

卒業後は県内で教職につき、以来県立高校で教鞭をとってまいりましたが、令和3年度末に定年退職となりました。現在は再任用2年目で、毎日教壇にたっております。

定年前は、毎日学校と家を往復し、週末も部活指導に明け暮れる日々を過ごしてまいりました。しかし、定年が近づくにつれ、定年後の自分の生活を考えるようになりました。いずれ再任用期間が終わり、今とは違う生活になった時に、自分と社会を結びつける何かが必要だと考えました。その時に頭に浮かんだのが稲門会でした。卒業後に、何度かホームカミングデーに参加し、学生時代を思い出す機会がありました。その時、やはり自分には早稲田の血が流れていると感じていましたので、定年退職を機に稲門会に加えていただくことを決めました。

令和4年度に入会させていただきましたが、残念ながら行事への参加はまだできておりません。いつの日か、皆様方にお会いできることを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

福田 幸一さん  
(S57法)



1982年（昭和57年）法学部卒の福田幸一です。早大高等学院入学から数えますと7年間早稲田の学生でした。生まれも育ちも東京都杉並区高円寺です（父は長崎県・母は山梨県出身です）。1993年（平成5年）から妻と娘の家族3人で佐倉市に住んでいます。学生時代はゼミ（4年時会社更生法）に出席していましたが、ほとんど商学部地下にあった証券学会にいました。

大学卒業後日本ゼオン(株)に入社、9年後全日本空輸(株)に転職しました。仕事は管理部門が長かったのですが、初の単身赴任先の高知空港ビル(株)では、土産物店と飲食店を担当し営業の楽しさを肌で感じ、とても楽しかった経験をしました。高知県は、温泉（美肌と評判）が点在し海山川の幸に恵まれており満喫してきました。

趣味は、温泉・旅行・ドライブ・観劇です。昨年佐倉稲門会に入会后、中山競馬場観戦（馬券は全部外れました）・新年会・早慶戦（歴史的な大敗）に参加し、楽しさを実感しております。これからも「好きだなあ・楽しいなあ・面白いなあ」とご縁を大事に皆さんと活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

杉山 良彦さん  
(S57社学)

阿部 誠士さん  
(S56文研(博))



現在の大学正門から  
構内を見た風景



## 老体に鞭打っての新入会員

木内 健二 (S45社学)



私は、ユーカリが丘に移り住んで28年になります。本来なら佐倉稲門会に入会すべき処、成田で家業の不動産管理を手伝う事になり成田稲門会に入会致しました。

学生時代野球部に入部していたので成田の先人たちの状況を全く知らず、唯一知りえた方は野球部所属で成田中学時代に甲子園3年連続で出場した石原利男先輩と大昭和製紙の専務取締役で活躍していた浅井義一先輩でした。

野球部時代は外部との接触は全くなく、学校とグラウンドの往復の毎日でした。六大学リーグ戦でベンチ入りしない我々1年生部員は、学生応援団の中には入れずに応援歌や早稲田大学の校歌なども覚えず仕舞いでした。

当時の監督は、茨城水戸高出身の石井藤吉郎さん。関白さんという愛称で親しまれていました。卒業してから知ったのですが、成田山参道沿い大野屋旅館経営者の大野正一さんが石井監督と同窓生であったと聞かされ、もっと早くから知っていたら良かったなあと考えた次第です。石井監督の実家も大洗荘といって、大野屋さんと同業で旅館業を営んでおりました。既にお二方は鬼籍に入られて、懐かしい思いでが沢山あり、素晴らしい先輩方にお会いできた事に感謝です。

当時の成田稲門会は、今ほど大学校友会・千葉県支部との連携や県内稲門会との交流がなかった為、総会は旧知のメンバーが古くからの料理屋さんに集まり行っておりました。県内で一番歴史の古い成田稲門会は昭和11年の創立。2016年の創立80周年行事は、前々年にご逝去された平山金吾元会長の後を継いだ私木内が行いました。

県内の古参の稲門会を知りえるようになったのは、県支部の副支部長という立場になってからです。副支部長に推薦して頂いたのは、佐倉稲門会会長でもあった副支部長の松平さんであります。県支部長に昇格された松平さんの後を継ぎ、副支部長と総務委員長を兼務する事になりました。

支部だよりの発行及び支部規則に関する事項が主な所管事項としている総務委員会です。県支部から各稲門会へのお知らせなどで、支部だよりが各稲門会同士の情報交換ツールの一つになるように掲載記事の充実を図るのが目的です。

一昨年辺りから、県下各稲門会の情報を掲載したり、近隣稲門会とのサークル活動での交流促進などをして県下各稲門会の親睦や活性化を図る事も視野に入れて会員各位に興味を与えるような紙面づくりを考えております。

佐倉稲門会は従来よりサークル活動が華々しく、臼井の音楽ホールでコンサートを開催したり、三田会との交流を図ったり、野草の会を計画しては県内稲門会に呼びかけをするなど、各会の連携を諮る活動は他の稲門会の指導的立場だと思えます。

コロナの影響で、県内各稲門会総会も3年間対面での総会が行われず仕舞いでした。ようやくコロナの感染者が減少傾向になって参りました今期は、各稲門会が総会を開催する用意が整って、県支部支部長と副支部長が県内20稲門会総会に手分けして出席し、今年の支部方針を各稲門会に伝え、各稲門会との連携強化・稲門会活性化支援。県内の稲門会を横断した県全体としての活動を広げていきたい方針を抱えております。

コロナの影響が鎮まる事で、従来の稲門会の活動が出来る喜びを分かちあえるような楽しい年にしたいですね。

何か県支部の固い話になってしまいましたが、これから佐倉と成田の会員として皆様と共に活動したいと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。



## ジョグ散歩の勧め

諏訪 吉春 (S49商)

腸の健全さが健康に直結する事が近年の医学の研究で判って来ました。人の体を内外から防御する免疫システムも腸の重要な役目と言われています。今回のコロナ禍もウイルス感染を含めた全ての病原菌と戦い正常な細胞を保つ上でも人が持つ精巧な免疫システムが我々を守ってくれています。善玉菌を増やすヨーグルト、納豆等の発酵食品を食べる事が長年推奨されてきましたが、腸の活性化に繋がる最適な習慣は腸を動かすことだそうです。

散歩は勿論、その意味で良い運動習慣と言えますが、どちらかと言えば散歩は平行運動が主で、それに比べてジョギングは体の上下運動があるため、移動距離が同じでもウォーキングと比べて運動量が大きくなります。私は長年、登山とジョギングを趣味としてきました。

ジョギング開始の契機は登山時の頂上直下の苦しい登りの辛さを何とか休まずに快適に登れないかと思い職場のマラソン仲間に誘われ始めました。何処でも何時でも独りで好きな空いた時間にできるジョギングはシューズ一つで金もかからず、爾来正しく最適な趣味になりました。古稀を過ぎ登山の下山時の道迷いや滑落を懸念する高齢者となり、ますますこの趣味を選んだ事の有難さを感じております。今年は4年振りに佐倉マラソンが開催されました。当日は朝から終日雨の悪天候でしたが、何とか制限時間の6時間以内にゴールをして70歳以上のフルマラソン完走者に授与される「シルバー賞」を貰いました。

食と睡眠と適度な運動が長寿を生き抜く術と心得、適度な運動として私はスロージョギングを推奨します。スロージョギングは足腰の負担が少なく高齢者の運動にピッタリです。歩く散歩と違い、走るジョギングは高齢者には少し強すぎる思われがちですが、走るペースは隣の人と笑顔でしゃべれるくらいの「にこにこペース」で普段通りの呼吸で走ります。キロ9～10分位の速歩のペースで胸を張り背筋を伸ばし顎を軽く上げ、目線は真っ直ぐに前に向けて遠くを見ながらのジョギングです。大事なのは姿勢で前傾姿勢になったり、背筋が曲がったりすると体に負担がかかり、怪我につながるので注意が必要となります。歩幅は小さく保ち踵ではなく、足の指の付け根あたりで着地し足裏で地面を押すようにして走る。指の付け根付近で着地すれば地面からの衝撃を緩和できるため、膝や腰への負担を軽減できます。心肺機能や足腰の筋肉が鍛えられ、スタミナもアップし筋肉中の脂肪量が減少します。特に鍛えられるのは太腿の筋肉で太腿は椅子から立ち上がった段階に登る時に使う筋肉で転倒防止にもなります。

健康寿命を伸ばすためには日々の運動が大切と心得て、私はこれをジョグ散歩と称して週4～5回、佐倉市西部自然公園の外周8.4kmをゆっくりと走ります。特に、畔田地区の自然豊かな環境は素晴らしく、四季の木々や花々の美しさ、鶯、白鷺、雲雀等の鳴き声や飛翔の優雅な姿を見ながらのジョグ散歩は里山の保全が残されている佐倉市民の贅沢な特権と思います。人生百年時代に向けて皆さん、頑張ってください。

## 総会

(令和5年6月11日)

令和5年度第37回佐倉稲門会定期総会が、ウィシュトンホテル・ユーカリで6月11日に盛大に開催されました。マスクなしでの対面開催となり、会場が64名の出席者の笑顔に包まれました。

総会開始前に、この1年間に逝去された会員のご冥福を祈り黙祷を行いました。

第一部の定期総会は、竹鼻会長の退任ご挨拶、ご来賓代表の早稲田大学校友会千葉県地域担当課長兼リサーチイノベーションセンター調査役酒匂孝之様のご挨拶のあと、2022年度の活動報告・会計報告、2023年度の活動計画案・会計予算案が承認され、最後に役員改選が行われ、新会長に森山泰充幹事長（S48政経）が満場一致で選出されました。森山新会長から就任挨拶があり、その後、新入会員で総会初参加の方が自己紹介をされました。

第二部は、中村直人氏（千葉工業大学情報科学部教授・S59理工院）の講演を、大学時代にタイムスリップしたような気持ちになって拝聴しました。演題は、「数学から情報の世界へ＝デジタルの基礎は18世紀に生まれていた＝」というITの根本であるデジタルについてでした。先生は、その特徴・技術の元を18世紀ヨーロッパの数学者フェルマー・ガロア・フーリエ・オイラーを例に数学の世界をわかりやすく紹介され、途中出された課題には、少々堅くなった頭？をフル回転させてみんなで取り組みました。

第三部懇親会は、最初に青野淳子さん（佐倉稲門会会員・S61文）の優しく・美しい音色の「揚琴演奏」を楽しみ、コロナ禍でよどんだ「心の洗濯」をさせていただきました。

青野さんは日本では希有な揚琴演奏者として行政の依頼によるコンサートや様々なパーティー・記念式典などで演奏活動をされていたそうです。

次にご来賓代表の木内健二千葉県支部副支部長のご挨拶のあと、花川顧問の乾杯の音頭により開宴となり、席を移動してお互いにお酒を注ぎ合う、コロナ禍前の賑やかな懇親会の姿があちらこちらで見られ、久しぶりに会員間の親睦が深められました。

「都の西北」を3番まで元気な声で熱唱し、最後に古場田副会長の閉会のご挨拶のあと、名残惜しい中を散会となりました。

脇谷 義朗（S57商）



## 新年会

(令和5年1月29日)

感染防止による自粛で三年ぶりの開催となる新年会が1月29日(日)、勝田台駅近くフレンチレストラン「貝殻亭」で総勢36名の参加により開催されました。欧風アンティーク感が溢れ、入口から奥のキャビンルームまで一直線に貫く一枚板テーブルが印象的な店内。

ウエルカムドリンクで喉を潤した後、竹鼻会長の挨拶で開会。続いて、当日参加された昨年入会の新人3名（稲葉隆さん、関美子さん、福田幸一さん）が自己紹介。

食事の前に、佐倉市在住のギタリスト・島田一男さんによるアンティークギターの音色を楽しみ、一先ずリラックス。

素晴らしい演奏の後、佐藤久弥さん（本年5月、享年104歳でご逝去されました。）の音頭で乾杯。旬の食材を使ったフランス料理とワインで皆さん笑顔、会話も弾み楽しいひと時。

最後は校歌「都の西北」黙唱、古場田副会長挨拶、参加者一同記念撮影で閉会。よく晴れた日曜の午後、明るく新年を交歓する会で親睦を深めました。

中村 勇（S60社学）



# 同好会連絡先・活動内容

| NO | 同好会名         | 連絡先                                                                     | 活動内容                                                                                              |
|----|--------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | ウォーキング会      | 幹事 諏訪 吉春<br>佐倉市上志津<br>090-2442-4019<br>myway-yoshi@tbt.t-com.ne.jp      | 名所旧跡を歩き、昼食を囲み歓談する。<br>年1回、秋頃、活動する。<br>11月頃、里見公園散策と老舗料亭で<br>会食懇親会予定。                               |
| 2  | 囲碁同好会        | 幹事 井澤 克彦<br>佐倉市染井野<br>090-7242-3531<br>ky-izawa0511@catv296.ne.jp       | 4月・7月・9月・1月・2月佐倉稲門会囲碁大会。<br>5月・12月四街道交流戦。6月オール早稲田囲碁祭。<br>9月県支部囲碁大会。11月佐倉三田会との交流戦。<br>毎月第4土曜囲碁研修会。 |
| 3  | お能を楽しむ会      | 幹事 高橋 輝久<br>佐倉市西志津<br>090-4711-4523<br>wa27534@bg7.so-net.ne.jp         | 毎月1回ZOOM開催。<br>9月30日観能会開催。年数回予定。                                                                  |
| 4  | ゴルフ同好会       | 幹事 岩崎 健一<br>佐倉市王子台<br>080-3101-6241<br>kmttr6241@i.softbank.jp          | 4月千葉県下稲門会親睦ゴルフ。<br>6月・12月佐倉稲門会懇親ゴルフ。<br>10月佐倉三田会との親睦ゴルフ。<br>5月・9月北総地区稲門会との懇親ゴルフ。                  |
| 5  | 懇話会          | 幹事 村田 修造<br>佐倉市王子台<br>090-8241-5445<br>murata-s@catv296.ne.jp           | 毎月第4日曜日に対面方式で開催。<br>会員の関心のあるテーマを議題とする。                                                            |
| 6  | とうもん・さくら俳句の会 | 幹事 高橋 輝久<br>佐倉市西志津<br>090-4711-4523<br>wa27534@bg7.so-net.ne.jp         | 毎月第3土曜開催。                                                                                         |
| 7  | ハイキングクラブ     | 幹事 楠原 正人<br>佐倉市ユウカリが丘<br>090-4169-1045<br>m_kusuhara@ac.cyberhome.ne.jp | 6月1日坂田ヶ池・房総のむらハイキング開催。<br>10月1泊ハイキング予定。<br>年2回（春・秋）ハイキング、新年会開催。                                   |
| 8  | 麻雀同好会        | 幹事 古場田 憲和<br>佐倉市王子台<br>090-7815-9844<br>n-kobata@catv296.ne.jp          | 3月・6月・9月・12月佐倉稲門会定例会。<br>春・秋 千葉県稲門麻雀交流会。                                                          |
| 9  | 寄席を楽しむ会      | 幹事 竹鼻 始<br>佐倉市上座<br>090-2655-3201<br>takehana@zg8.so-net.ne.jp          | 9～10月に開催予定。<br>寄席を鑑賞後、懇親会を予定しています。                                                                |



## コラム

### コロナ終息期雑感

5月8日、政府はコロナの感染症分類を2類からインフルエンザ並の5類へ指定替えとした。WHOも終息宣言を出した。

この終息期において、外国と日本の国民のマスク対応に大きな違いが出たことは注目される。外国は、殆どの国民がノーマスクに移行していたが、日本人は、世界で最もコロナ被害が少なかったにも関わらず、大多数がマスク着用をしていた。

高齢者や持病疾患者が、マスクをすることはやむを得ないが、健康な人、若い人、子供がマスクを外したくても人の目が気になる、空気の支配により外せないとの声が多く寄せられ、問題化した。

この現象は、根本的な問題は自分の考えが無いということがある。社会哲学の視点から考えると、独立の気概が無く、ために全体主義に流れる危険性を持つ。死の覚悟性が無く、不安感の増大に繋がるということになる。この問題の解決には、表紙の祭りに象徴されているが、共同体意識の強化、伝統の力を信用するということがある。

共同体意識とは、平たく言うと、協力し合い、仲良くするということである。共同体（小は家族から、大は国家まである。）の利益は、個人の利益と相反する場合がある。共同体の利益とは、全体の利益のことである。そのために個人の利益を犠牲にすることがあるが、社会は快適となる。

歴史的に言うと、日本は敗戦を迎えて戦後、国家、社会のことよりも個人の利益を優先する教育を受けてきた。それをはね除ける力の思想的根源は、共同体意識を強化し、人との繋がり強化、伝統の力を見直し、地域への愛着が必要だ。

政治は、共同体を守り、いかに民の生活を救済し、向上させ、守るかが仕事だ。

楠原 正人（S49社学）

## 新役員

| 役職   | 氏名（卒年）                    |              |              |  |
|------|---------------------------|--------------|--------------|--|
| 会長   | 森山 泰充（S48政経）              |              |              |  |
| 副会長  | 諏訪 吉春（S49商）               |              | 中村 勇（S60社学）  |  |
| 幹事長  | 河野 俊昭（S48法）               |              |              |  |
| 副幹事長 | 早川 誠貴（H8政経）               |              |              |  |
| 会計幹事 | 脇谷 義朗（S57商）               |              |              |  |
| 監事   | 井澤 克彦（S42理工） 松川 泰三（S50政経） |              |              |  |
| 幹事   | 村田 修造（S38法）               | 和田 勇（S38商）   | 大島 信三（S39教育） |  |
|      | 宮武 忠博（S40法）               | 中村 昭夫（S41政経） | 平野 萬司（S41政経） |  |
|      | 水野 昂（S43理工）               | 渡邊 信一（S43理工） | 岩崎 健一（S44商）  |  |
|      | 河西 郁男（S44教育）              | 古場田 憲和（S45商） | 坂田 孟夫（S45法）  |  |
|      | 那須 邦博（S46政経）              | 山城 文雄（S46政経） | 楠原 正人（S49社学） |  |
|      | 門脇 尚樹（S50政経）              | 稲葉 隆（S51政経）  | 竹中 靖博（S54法）  |  |
|      | 茶野木 力（S55法）               | 福田 幸一（S57法）  | 千田 武弘（H7商）   |  |
|      | 小林 慎一郎（H27スポ科院）           |              |              |  |
| 顧問   | 花川 宏（S29理工）               | 高橋 輝久（S39法）  | 松平 武史（S43商）  |  |
|      | 澤谷 英男（S43商）               | 竹鼻 始（S47理工）  |              |  |

発行人：森山 泰充

編集委員会：河西 郁男、楠原 正人、諏訪 吉春、中村 勇、早川 誠貴

表紙写真撮影：楠原 正人

会報連絡先：河西 郁男 kikuo9071946@yahoo.ne.jp

ホームページ：www1.rurbanet.ne.jp/~sakuratoumon